～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名　当院における潰瘍性大腸炎に対するフィルゴチニブの有効性と安全性の検討』
研究機関名　東邦大学医療センター大森病院
研究責任者　消化器内科　　職位・氏名　助教・鳥羽崇仁

【試料・情報の利用目的】
取得した試料・情報は当院における潰瘍性大腸炎に対するフィルゴチニブの有効性と安全性の検討することを目的とした研究に利用します。
この研究で得られる成果は、今後の潰瘍性大腸炎に対する薬物治療の発展につながります。

【他機関への提供】
他機関への提供は行いません。

【研究に用いられる試料・情報】
試料：血液、内視鏡検査時に採取した組織　等
情報：病歴、診療の治療歴、副作用等の発生状況、個人情報　等
研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できる情報を報告・公開することはありません。

【試料・情報の利用または提供を開始する予定日】
2024 年 3 月より利用を開始します。

【試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名】
機関名：東邦大学医療センター大森病院　病院長：瓜田純久

【試料・情報の取得方法】
対象者：2022 年 3 月～2023 年 12 月までに東邦大学医療センター大森病院
消化器内科において、潰瘍性大腸炎に対してフィルゴチニブによる治療歴のある方
方　法：診療録（カルテ）から抽出したデータを解析します。

【研究組織】
代表施設名：東邦大学医療センター大森病院　研究代表者：鳥羽崇仁　役職：助教

【利用する者の範囲】
代表施設名：東邦大学医療センター大森病院　研究代表者：鳥羽崇仁

【試料・情報の管理について責任を有する者の名称】
代表施設名：東邦大学医療センター大森病院　研究代表者：鳥羽崇仁

本研究に関してご質問のある方、試料や情報を研究に利用することを承諾されない方は、2024年 6 月 30 日までに(過去に採取した既存試料を利用する場合)下記へご連絡下さい。申し出のあった方の試料・情報は、利用や他の研究機関への提供を行いません。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。また、研究期間内において、未成年者、認知症等で自己判断が困難な方、亡くなられた方に対しては代諾者を設定します。代諾者として、対象者の親権者、配偶者(内縁を含む)、後見人その他これらに準じる方で、両者の生活の実質や精神的共同関係からみて、対象者の最善の利益を図りうる方を指します。

【連絡先および担当者】　東邦大学医療センター大森病院　消化器内科
職位・氏名　助教・鳥羽崇仁
電話 03-3762-4151　内線 77692